令和6年度 福生市公立学校評価書総括表

	学校自己評価総括	改善策	学校関係者評価総括		改善策	総括評価
福生第二小学校	(1)「よく考える子」(問題解決力)の育成	①個別最適な学び・協働的な学びの推進 ②ICT機器の積極的かつ効果的な活用 ③「ふっさっ子スタンダード」を基とした学習習慣の定着 ④地域人材を活用した体験的学習の充実・改善	よい	10.0%	①本物体験を重視した魅力ある学習活動 ②ICT機器の効果的活用の推進 ③「ふっさっ子スタンダード」の確実な定着に向けた工夫改善 ④校内研究の充実・改善 ⑤読書活動の充実・改善	○地域学習や伝統文化に関する体験的学習を新たに実施することができ、児童の学びへの関心に高まりが見られた。学習規律の身に付けさせるために「ふっさっ子スタンダード」を重視した指導を全校で行い、成果があった。基礎学力の定着に向けて授業改善を図っていく。
			概ねよい	60.0%		
			もう少し	30.0%		
			努力を要す			
	(2)「思いやりのある子」(人間関係形成力)の育成	①人権教育の充実・改善 ②挨拶・言葉遣い等の基本的生活習慣の定着 ③たてわり班活動等の異学年交流活動の充実・改善 ④いじめや暴力を許さない雰囲気づくりの醸成 ⑤インクルーシブ教育の充実・改善	よい	60.0%	①人権教育(個別的な視点からの取組)の校内における重点化 ②「きりっと生活」の指導の徹底 ③学級会の充実・改善 ④いじめの未然防止の充実・改善 ⑤特別支援教育に関する理解教育の実施	○計画代表委員主催会の挨拶運動や小中合同の挨拶運動を通し、校内で挨拶を広げようという雰囲気が醸成された。一方で、まだ挨拶が未定着の児童も一定数いる。「子どもの権利条約」を題材に全学年で人権教育を実施した。来年度は、各学期初めにいじめ防止の取組を設定し、いじめの未然防止を図る。
			概ねよい	40.0%		
			もう少し			
			努力を要す			
	(3)「体を大切にすする子」(心身健康の保持増進力)の育成	①体育授業の質的授業改善 ②持久走週間・縄跳び旬間の取組 ③保健指導(歯磨きの取組等)による心身の健康保持・増進の励行	よい	40.0%	①課題解決型体育授業の充実・改善 ②全校一斉の体育的取組の充実・改善 ③外部団体と連携した歯磨きの取組及び保健指導の充実・改善 ④栄養教諭を活用した食育の推進	○持久走や縄跳びの取組を全校一斉に一定期間実施し、児童がすすんで体力向上に努める姿が見られた。今年度より給食後の歯磨きの取組を実施し、定着を図ることができた。来年度は、外部団体と連携した保健指導と栄養教諭を活用した食育を重視していく。
			概ねよい	60.0%		
			もう少し			
			努力を要す			
	(4)「チーム学校」の確立及び学校組織運営力の向上	①学校関係諸機関との連携・協働 ②主幹教諭を核とした組織的運営 ③OJT等、校内研修の充実・改善	よい	40.0%	①関係諸機関との連携・協働の充実・改善 ②主任教諭の組織運営力の向上 ③校内CS委員会の設置	○特別支援教育校内委員会を中心に関係諸機関と連携を図りながら、特別な配慮を要する児童や家庭への支援を具体的に検討できた。主幹教諭がリーダーシップを発揮し、円滑な組織運営が実現できた。来年度は、主任教諭に人材育成への視点を与え、組織運営力の向上を一層図る。
			概ねよい	60.0%		
			もう少し			
			努力を要す			
	(5)地域協働の学校づくり	①創立150周年事業の実施 ②CS委員会・PTAとの連携・協働 ③学校支援地域組織「くまっ子応援団」との連携による地域学習の充実 ④教育活動情報発信	よい	80.0%	①創立150周年事業の成果の継承 ②CS委員の学校の状況把握につながる場の更なる設定 ③地域人材バンクの整備 ④各教育活動の成果に関する保護者への理解浸透	○創立150周年記念事業は、どの事業も地域と協働しながら充実させることができ、特に式典は内容も充実し、多くの来賓から賞賛の言葉があった。学校支援Coとの連携は十分に図れている。各教育活動の成果のPRが十分でないためか、保護者に浸透し切れてない面が見られる。
			概ねよい	20.0%		
			もう少し			
			努力を要す			
	(6)教員の心身の健康管理と働き方改革の推進	①ICT機器を活用した業務の効率化 ②トラブル等への組織的対応による心理的負担感の軽減 ③メンター制度の活用 ④教職員アウトリーチ型相談の実施	よい		①教育効果を重視した上での各教育活動のスクラップ&ビルドの実施 ②教職員の危機管理対応力の向上 ③メンター制度の充実・改善 ④教職員の健康把握に向けた面談の実施	○トラブル等には組織的に対応してきたことで、発生した問題を教職員が一人で抱え込まない職場環境の整備に努めた。メンター制度が導入され、心身の健康保持に向けた教職員の意識の向上が見られている。時間外労働の削減への取組が不十分で改善が見られていない。
			概ねよい	80.0%		
			もう少し	10.0%		
			努力を要す	10.0%		